

平成28年度埼玉県における 農地中間管理事業の推進について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

埼玉県農業の現状・課題

- 多くの高齢農家がリタイア期
(担い手への農地集積が課題)

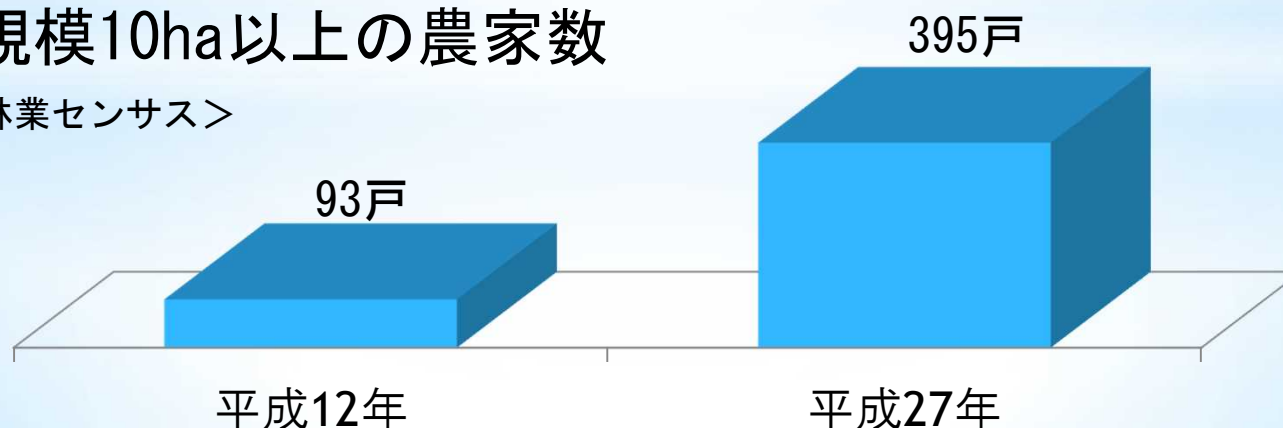
年齢別農業経営者数（販売農家）（平成27年） <農林業センサス>



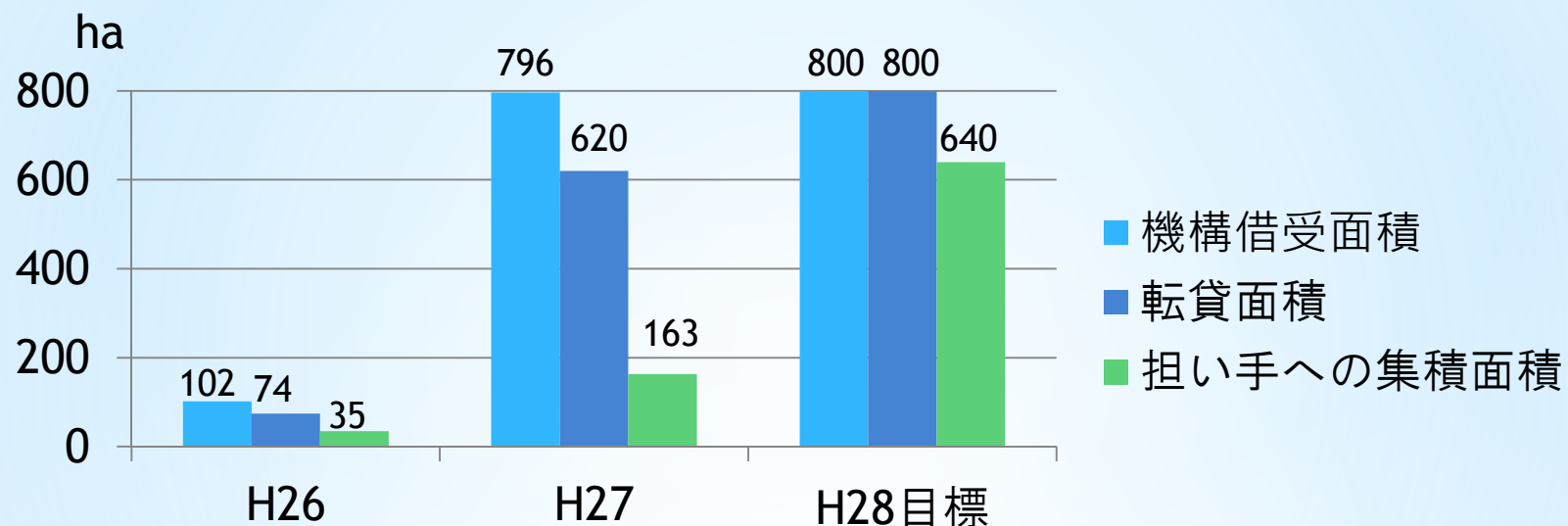
- 大規模農家は着実に増加
(更なる育成、分散したほ場の団地化が課題)

経営規模10ha以上の農家数

<農林業センサス>



これまでの取組実績と平成28年度の目標



○ 平成27年度の実績

- ① 平成27年度の実績
平成27年度の実績は、平成26年度の8倍以上に増加（全国は約3倍）
- ② 担い手への利用面積集積の向上が課題

取組における課題と推進策

○ 推進に当たってのマンパワー不足

→県：関係課、農林振興センターが総力を挙げて推進。

機構：コーディネーターを増員し、体制を強化。

○ 制度の周知不足

→FM NACK 5でCMを放送。土地持ち非農家等まで広く周知を図る。

→現地検討会を開催し、優良事例の横展開を図る。

地域の皆さんへ

- 農地所有者・耕作者と**地域の課題を共有**
(5年、10年先の担い手、遊休農地の状況)
- 課題の解決に向けて、**地域で話し合い**
(将来の担い手・農地の出し手の明確化)
→ **人・農地プランの作成**
- 農地の集積・集約化に当たっては、**農地中間
管理事業を活用**

必要に応じて基盤整備を実施

地域農業の維持・振興
競争力のある力強い農業の実現